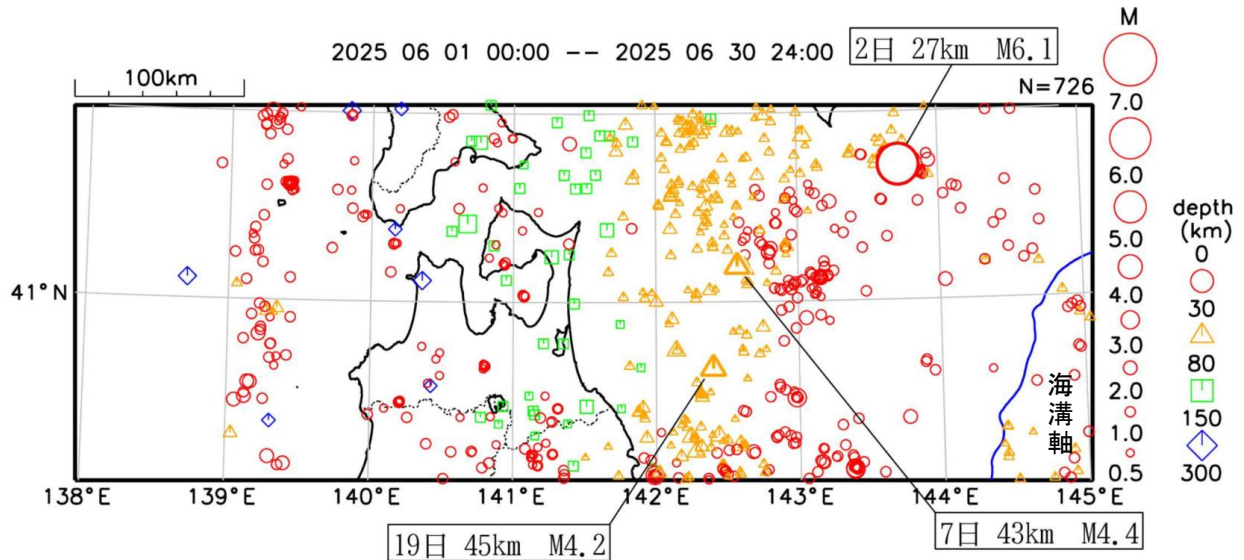


青森県月間地震概況

2025年6月

青森地方気象台

震央分布図



震央：震源（地下の岩盤破壊が最初に始まった点）の真上に向かって地表に投影した点
M（マグニチュード）：地震の規模

吹き出しをつけた地震は概況で取り上げたもの。

【6月の地震概況】

今期間、青森県内で震度1以上を観測した地震は11回（5月：16回）であった。このうち、青森県内で震度3以上を観測した地震は0回（5月：2回）であった。

2日03時51分に十勝沖の深さ27kmでM6.1の地震が発生し、北海道で震度4を観測したほか、青森県、岩手県、宮城県、及び秋田県で震度2～1を観測した。県内では、青森市、つがる市、むつ市などで震度2を観測するなど、県内全域で震度2～1を観測した。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

図の範囲外であるが、19日08時08分に根室半島南東沖の深さ25kmでM6.0の地震が発生し、北海道で震度4を観測したほか、県内では東北町などで震度1を観測した。この地震の震源付近では22日06時23分にもM6.0（深さ24km）の地震が発生し、北海道で震度3を観測したほか、県内では八戸市で震度1を観測した。これらの地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

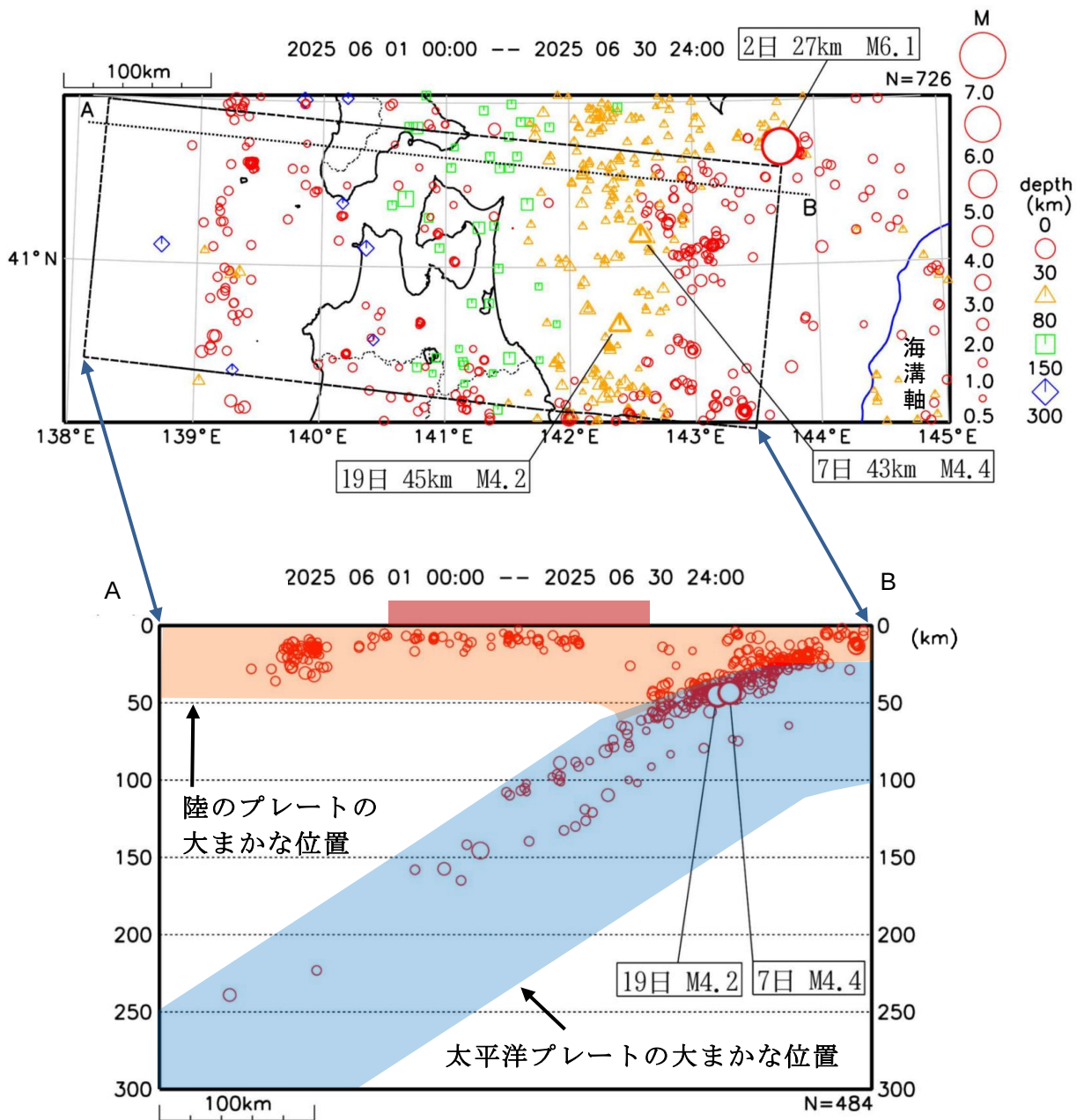
7日14時40分に青森県東方沖の深さ43kmでM4.4の地震が発生し、青森県で震度2を観測したほか、北海道、青森県、岩手県で震度1を観測した。県内では、南部町で震度2を観測したほか、三八上北、下北と津軽の一部で震度1を観測した。

19日10時53分に青森県東方沖の深さ45kmでM4.2の地震が発生し、青森県と岩手県で震度2を観測したほか、北海道、青森県、岩手県で震度1を観測した。県内では八戸市で震度2を観測したほか、三八上北と津軽の一部で震度1を観測した。

各地の震度の詳細については「青森県で震度1以上を観測した地震の表」を参照。

地震の震源要素及び震度データは、再調査により変更することがある。

断面図（震央分布図内の破線領域内のA点からB点の断面における震源の深さ）



※太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。

※ は陸地の大まかな位置を示している。

※陸地から離れた海域（概ね陸地から200km以遠）ほど、震源の深さに関する精度は良くない。なお、沖合の地震の震源は、実際はより浅いところのものが多いと考えられる。

青森県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2025年6月1日～2025年6月30日

発 震 時	震 央 地 名	北 緯	東 経	深 さ	規 模
各地の震度					
2025年06月01日08時07分	青森県東方沖	40° 44.5′ N	142° 08.5′ E	54km	M3.0
青森県	震度 1 : 八戸市湊町				
2025年06月02日03時51分	十勝沖	41° 42.9′ N	143° 43.1′ E	27km	M6.1
青森県	震度 2 : 青森市花園 青森市中央＊ 平内町小湊 つがる市稲垣町＊ 外ヶ浜町蟹田＊ 八戸市湊町 八戸市南郷＊ 野辺地町田狭沢＊ 野辺地町野辺地＊ 七戸町森ノ上＊ 七戸町七戸＊ 六戸町犬落瀬＊ 東北町上北南＊ 五戸町古館 青森南部町苫米地＊ おいらせ町中下田＊ むつ市金曲 むつ市金谷＊ むつ市大畑町中島＊ 東通村砂子又蒲谷地 東通村砂子又沢内＊				
	震度 1 : 青森市浪岡＊ 五所川原市相内＊ 五所川原市金木町＊ 平内町東田沢＊ 今別町今別＊ 蓬田村蓬田＊ 板柳町板柳＊ 鶴田町鶴田＊ つがる市市柏＊ つがる市森田町＊ つがる市車力町＊ つがる市木造＊ 外ヶ浜町三厩＊ 中泊町小泊＊ 中泊町中里＊ 弘前市弥生 黒石市市ノ町＊ 藤崎町西豊田＊ 藤崎町水木＊ 田舎館村田舎館＊ 八戸市内丸＊ 十和田市西二番町＊ 十和田市西十二番町＊ 十和田市奥瀬＊ 三沢市桜町＊ 横浜町林ノ脇＊ 横浜町寺下＊ 東北町塔ノ沢山＊ 六ヶ所村尾駈 六ヶ所村出戸 三戸町在府小路町＊ 五戸町倉石中市＊ 青森南部町沖田面＊ 青森南部町平＊ 階上町道仏＊ おいらせ町上明堂＊ むつ市川内町＊ むつ市脇野沢＊ 大間町大間＊ 東通村尻屋＊ 東通村白糠＊ 風間浦村易国間＊				
2025年06月02日11時31分	宮城県沖	38° 25.2′ N	142° 12.8′ E	30km	M4.8
青森県	震度 1 : 八戸市湊町 八戸市内丸＊ 八戸市南郷＊ 七戸町森ノ上＊ 東北町上北南＊ 三戸町在府小路町＊ 五戸町古館 田子町田子＊ 青森南部町苫米地＊ 青森南部町平＊ 階上町道仏＊ おいらせ町中下田＊				
2025年06月03日22時18分	十勝沖	41° 44.8′ N	143° 37.6′ E	33km	M5.2
青森県	震度 1 : 八戸市南郷＊ 野辺地町野辺地＊ 七戸町森ノ上＊ 東北町上北南＊ 青森南部町苫米地＊ むつ市大畑町中島＊ 東通村砂子又沢内＊				
2025年06月07日14時40分	青森県東方沖	41° 11.2′ N	142° 34.3′ E	43km	M4.4
青森県	震度 2 : 青森南部町平＊ 震度 1 : 平内町小湊 八戸市湊町 八戸市内丸＊ 八戸市南郷＊ 野辺地町野辺地＊ 七戸町森ノ上＊ 七戸町七戸＊ 横浜町林ノ脇＊ 東北町上北南＊ 東北町塔ノ沢山＊ 三戸町在府小路町＊ 五戸町古館 五戸町倉石中市＊ 青森南部町沖田面＊ 青森南部町苫米地＊ 階上町道仏＊ おいらせ町中下田＊ おいらせ町上明堂＊ むつ市大畑町中島＊ 東通村砂子又沢内＊				
2025年06月14日03時35分	千島列島	45° 36.1′ N	153° 04.6′ E	30km	M6.2
青森県	震度 1 : 八戸市南郷＊ 青森南部町苫米地＊ おいらせ町中下田＊				
2025年06月14日19時46分	宮城県沖	38° 27.5′ N	142° 08.5′ E	41km	M5.0
青森県	震度 1 : 八戸市湊町 八戸市内丸＊ 八戸市南郷＊ 七戸町森ノ上＊ 東北町上北南＊ 三戸町在府小路町＊ 五戸町古館 青森南部町苫米地＊ 青森南部町平＊ 階上町道仏＊ おいらせ町中下田＊				
2025年06月19日08時08分	根室半島南東沖	42° 54.7′ N	146° 30.7′ E	25km	M6.0
青森県	震度 1 : 八戸市南郷＊ 七戸町森ノ上＊ 東北町上北南＊ 五戸町古館 おいらせ町中下田＊				
2025年06月19日10時53分	青森県東方沖	40° 38.8′ N	142° 23.9′ E	45km	M4.2
青森県	震度 2 : 八戸市湊町 震度 1 : 平内町小湊 八戸市内丸＊ 八戸市南郷＊ 十和田市西二番町＊ 十和田市西十二番町＊ 十和田市奥瀬＊ 三沢市桜町＊ 野辺地町野辺地＊ 七戸町森ノ上＊ 東北町上北南＊ 東北町塔ノ沢山＊ 三戸町在府小路町＊ 五戸町古館 五戸町倉石中市＊ 青森南部町沖田面＊ 青森南部町苫米地＊ 階上町道仏＊ おいらせ町中下田＊				

発 震 時	震 央 地 名	北 緯	東 経	深 さ	規 模
各地の震度					
2025年06月22日06時23分	根室半島南東沖	42° 53.4' N	146° 29.5' E	24km	M6.0
青森県	震度 1 : 八戸市南郷*				
2025年06月23日18時40分	浦河沖	41° 55.1' N	142° 19.6' E	68km	M3.8
青森県	震度 1 : 東通村砂子又沢内*				

(注) 地震の震源要素等は、再調査により変更することがある。

各地の震度は青森県のみを示し、*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

津波から命を守るために

レジャーで海を訪れる機会が多くなる季節となりました。

日本は、世界有数の地震大国で、これまで、多くの地震による津波災害を経験してきましたが、津波から命を守るためには、津波から逃げるしかありません。

海岸付近で地震の揺れを感じたり、津波警報等（大津波警報・津波警報・津波注意報。以下同じ）の発表を見聞きしたら、すぐに避難するなど、以下のように津波から命を守る行動をとることが大切です。

- ◆津波警報等を見聞きしたら（揺れを感じなくても）、直ちに海岸から離れ、高台などへ避難する。
- ◆震源が陸に近いと津波到達時間まで数分しかないことがある。（津波警報等発表の前に津波が押し寄せてくる可能性がある）
- ◆海岸で大きな揺れを感じたり、弱くてもゆっくりとした長い揺れを感じた時は、大きく揺れている間は、安全な場所で身を守り、揺れがおさまったら、直ちに避難を開始する。
- ◆津波は長い時間くり返し襲ってくる。津波警報等が解除されるまで安全な場所からは離れない。
また、ここなら安全と思わず、余裕があれば、より高い場所を目指して避難する。
- ◆津波注意報でも海中にいる人は直ちに海から上がり、海岸から離れ、解除されるまで海に入ったり海岸に近づいたりしない。

地震や津波はいつ発生してもおかしくありません。いつ津波が発生しても身を守ることができるように、日頃から色々な場面を考えて備えておくことが大切です。

（ハザードマップを用いて自宅や学校、職場周辺などで津波に襲われるおそれのある場所を確認したり、津波避難場所や避難ビルの場所を確認したりするなど）

【津波避難場所】



【津波避難ビル】



また、聴覚に障がいをお持ちの方や、波音や風で音が聞き取りにくい遊泳中の方へ津波警報等を発表したことを視覚でお知らせする手段として「津波フラッグ」を導入しているところがあります。

海水浴場や海岸付近で「津波フラッグ」が振られていたり、掲げられたりしているのを見たら、速やかに海から離れて高い場所へ避難してください。



津波フラッグ

テレビ、ラジオ、スマートフォン、インターネット等、様々な方法で地震津波に関する情報入手できますので、海岸付近へ出掛けるときは、ラジオ、携帯電話などの情報機器を携帯しましょう。

【最新の津波情報】

気象庁ホームページ

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#5/37.979/135/&elem=warn&contents=tsunami>

【津波から身を守るために】

気象庁ホームページ

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/tsunami_bosai/index.html